

平成30年度 公の施設目標管理型評価書

施設名	みどりと森の運動公園体育施設 (有料)		
管理者名	みどりと森体育施設運営グループ	指定期間	平成28年4月1日 ~ 令和3年3月31日
担当課	西区地域課		
所在地	西区板井1018番地1		
根拠法令	都市公園法		
設置条例	新潟市都市公園条例		
施設概要	<p>主な施設内容 (構成施設の内容)</p> <p><野球場> 鉄筋コンクリート造 平屋建て グラウンド面積: 13,515㎡ 両翼: 98m センター: 122m 内野: 黒砂混合土 外野: 天然芝</p> <p><屋内コート> 鉄骨造 一部鉄筋・鉄骨コンクリート造 平屋建て 砂入人工芝コート舗装 建築面積 2,424㎡</p> <p><屋外フットサルコート> ロングパイル ゴムチップ入り人工芝舗装 建築面積2,406㎡</p> <p><多目的グラウンド> クレイ舗装 建築面積13,787㎡</p>		

施設設置目的

スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として、体育施設を設置する。

管理・運営に関する基本理念, 方針等

- (1)新潟市都市公園条例 (以下「条例」という。)に基づき、スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。
- (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、住民サービスの向上や平等利用が確保すること。
- (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。
- (4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。
- (5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。
- (6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。
- (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。
- (8)指定管理者制度を理解し、実践すること。

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	基準利用時間の達成	・全体育施設利用時間数年間6,300時間以上（但し、天候に考慮し評価する）	・5947.5時間(前年6396.5時間) 野球場や多目的グラウンドは大会用の整備時間があり、また天候の影響を受けている。特に多目的グラウンドはソフトボールの大会が増加した為、整備日を含めサッカーの団体が利用できない日数が増加していることが要因として考えられる。	B	
	基準利用率の達成	・施設全体平均稼働率(利用時間/利用可能時間)(22.0%以上)(但し、天候に考慮し評価する)	・19.7%(前年21.2%)ソフトボールの大会が増加した反面、整備時間を要しサッカー団体の利用が減少したと考えられる。	B	
	設置目的に合致したサービス提供	・施設や指定管理者の特色を生かした事業を年40回以上実施	・ノルディックウォーキングセミナーや地域活動(ナイターリーグ・中学生野球教室等)を年46回実施した。 ・総参加者数:1,423人(おとな1,044人、こども379人)	B	
	苦情・要望に対する対応	・苦情・要望には 3営業日以内に回答	・苦情や要望に対しての市民への回答を3営業日以内におこなった。また市へも同様に3営業日以内に報告した。	B	
財務	管理運営経費の削減	・管理経費を抑えるための取組実績5項目以上	・野球場管理エリアの電球を間引き節電 ・紙類は極カシュレッターをしてゴミの軽減 ・冷暖房を使用する際は扇風機を併用し節電 ・夜間整備の際は1/2照明で節電 ・グループのノウハウを最大限に生かし外注を減らした	B	運営経費削減に向けて取り組んだ
	市の歳入の増加	・年間使用料収入(免除料金含まず)12,897千円以上(但し、大会や市の主催事業等による使用料免除について考慮し評価する)	・10,548,046円(前年11,499,771円) ・免除申請1,902,779円(前年1,934,641円) ・スポーツ少年団・準ずる団体申請2,099,550円(前年2,250,275円)	B	
業務	地域貢献・地域連携	・地域貢献活動(連携事業) 年5回以上実施	・西区の公民館・児童館で子育て支援事業に協力(4回) ・西区野球連盟と連携しナイターリーグ・中学生野球教室を実施(30回)	A	目標値以上に実施した
	改善勧告時の対応の迅速さ・適切さ	・改善内容に応じて軽易なもの即日、時間を要するもの1週間以内に改善対応	・利用者意向調査票を活用し迅速に対応した。	B	
	当該施設の管理に係る関係法令の順守	・コンプライアンス研修 年1回以上実施	・年度初めに全スタッフで研修を実施した。	B	目標の通り実施
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	・防災訓練 年2回以上実施(消防訓練・救命救急訓練など)	・年に2回全スタッフで消防訓練を実施した。・月に1度施設管理研修を開き災害時や救急時の対応を確認した。	B	目標の通り実施
	事件・事故発生時の対応の適切さ	・AED取扱講習、応急処置講習を全員が受講	・全スタッフが新潟市消防局の救命講習を受講し取り扱いを学んだ。	B	目標の通り実施
	業務基準書等に定める事項の遵守	・その他業務基準書等に定める事項の遵守	・遵守している。	B	遵守していた
人材	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	・職員研修を年10回以上実施	・上級体育施設管理士を中心に月に1回以上研修を開き運用の確認をおこなった。	B	目標通り実施
	労働基準の充足	・労働関係法令の遵守	・労働基準違反に該当する問題なし。 ・社会保険料の延滞無し。 ・その他該当する違反・延滞無し。	B	遵守していた

【評価基準】

A：要求水準（＝評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている。

B：要求水準（＝評価指標）を達成されている。

C：要求水準（＝評価指標）を達成されていない。

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

施設利用者の方々に安全安心な施設や設備を提供できるように整備をしてきました。

また、各競技種目の大会を想定した対応が出来ていると思います。

一方、野球場や多目的グラウンドからの施設外飛球に関して防球対策が万全といえる状況ではありません。併設している公園利用者の中には飛球の危険性を察知していない方が多く見受けられる為、引き続き全ての来園者に向けて危険性の周知に努めたいと思います。

所管課による総合評価(所見)

提出書類の精度も高く、業務計画書に基づいた施設管理も行き届いている。

施設が公園と隣接している特性から、今後も飛球等に対する安全対策も含めて利用者が安心して使用できる施設運営を行ってほしい。